

吹田新選会通信

挑戦する勇氣・守るやさしさ・創る情熱

vol. 08

今回の個人質問は、先ず市長の決意と基本的な考え方の確認をし、具体的な提案や質問としては①質の高い起業家育成で、将来につなげる産業振興提案！②今しかできない国・府の施策をいかした地域づくりの提案③エイズ予防教育・性教育の現状④小中一貫教育に関する市内全域への説明、が主な項目です。さて、**市長は地域社会を再構築する**と力強く述べています。しかし、それを成し遂げることは並大抵ではありません。戦後の外圧による「**日本の精神文化崩壊戦略**」によって多くの国民が自分のこと以外には無関心になっています。こんな時代に市民参加・参画を推進し市民自治を推進しようとするのですから、様々なトラブルもおこると思っています。しかし、その壁を越えていくためには、それを**本気で取り組むリーダー**が必要だと思っています。今後も吹田新選会は、**我々だからこそできる活動**を加速的に展開しますので、多くの皆様と共に取り組ませて頂ければと期待しております。



吹田市議員

いしかわ まさる
石川 勝

PROFILE 石川 勝(いしかわ まさる)

昭和43年 吹田市垂水町生まれ
北千里高校7期生・神戸学院大学法学部卒。24歳の頃より「時代を創るのは青年の使命である」との思いで「まちづくり運動」に関わる。主な経歴は吹田青年会議所理事長・豊一小PTA会長・ボランティアフェスティバル実行委員長。「挑戦する勇氣・守るやさしさ・創る情熱」を持って何事も「とことん、やります！」今年の自己目標は周囲を笑顔にできるような「太陽のような存在」を目指しています。お気軽にお声掛け下さいね！

産業振興

Q. 質の高い起業家育成で、将来につながる産業振興を！

[石川 個人質問]

Q. 平成18年3月に「吹田市産業振興ビジョン」が策定され、今回関連する条例案が上程された。これまで本市においては、幸い一定の税収を確保できる状況だったことが、経済政策がそれほど重要視されてこなかった1つの要因だと考えるが、今後は税収が減る傾向にあり、条例案が提出された今だからこそ長期的にみた現実味のある政策を打ち出さねばならない。

起業家を支援し将来の吹田を担う存在に育て上げるための取り組みは、市民から徴収した税金の投資策であるが、現在の創業時における賃料補助などの取り組みでだけでは成果は低いと考える。

吹田の地で起業して成功している企業からの支援や、理解ある市内企業からのノウハウ提供や学びの場の提供など、まち全体で起業家を育て、それによって成功する企業が又次の起業家を育成するなどの循環型経済への施策など、魂のこもった取り組みにすべきだ。その為には、現在の創業時支援施設事業、EBC吹田事業を効果が更に高まるだろうと予測される江坂の一等地での展開に発展させるべきだと提案するが、見解を求める。

A. 厳しい財政状況下ではあるが、「まち全体で起業家を育成していく」という意味での循環型経済の拠点として、創業・起業支援のセンター的役割を果たす場の必要性を認識している。又、「本市で既に成功しておられる企業が新たな起業家を支援し育てていく仕組み」を構築するため検討する。



活動内容はブログで。

http://blog.livedoor.jp/ishikawa_masaru

吹田新選会通信

vol. 08

政治に「誠」まちに「夢」人に大きな「志」



今回の代表質問では、若輩の私には「過ぎたもののいい」であることは重々承知しながら、**生活保護や家族の助け合い、親の学び支援**について意見を述べました。我々の世代は、団塊の世代の高齢化だけでなく、同世代に増えている引きこもりやニートと呼ばれる人たちを福祉などで支えていかなければならず、自分たちの老後を支えてくれる子供の数は減り続けている、未来に大きな不安を抱えた世代です。それがわかっているはずなのに、豊かさの中でうわべの自由・平等・民主主義の価値しか教えられていない者は、**自分達の義務や責任を意識することが難しく、自分達の生活を支える政治や子供の教育に無関心**です。このままいけば、我々の世代はいずれ来る冬の時期を、童話「アリとキリギリス」のキリギリスで迎えることになる気がしてなりません。私は**若い世代を代弁する気持ちで政治活動**をしており、今回は上記の危機意識からくる意見を議会で訴えました。



吹田市議員

かみや ソウヘイ
神谷 宗幣

PROFILE 神谷 宗幣 (かみや ソウヘイ)

昭和52年 福井県大飯郡高浜町生まれ 福井県立若狭高等学校卒。
関西大学在学中に1年間海外をまわり、自分を含めた今の日本の若者はこれでいいのか、と疑問を抱く。大学卒業後、高校教師の経験を経て関西大学法科大学院へ進学し、平成19年3月卒業後、4月の地方選挙で吹田市議会議員に初当選。「変えよう！若者の意識」をキャッチフレーズに、吹田市の教育の充実を目指し活動中！

福祉

Q. 高齢者福祉を考えた価値観の転換を！ [神谷 代表質問]

Q. 高齢化が進む中、高齢者福祉の問題を考えるとこれ以上行政サービスを充実させ、増税していくことには限界を感じる。私は増税には反対である。
私は、元気な地域社会を復活させるには家族の再生を試みる必要があり、2世帯、3世帯同居の奨励などによって、家族間の助け合いを行ってもらい、社会全体の高齢者福祉負担の増大を支えてもらえばよいと考える。高齢になられた方々が肩身の狭い思いをしなくてもいいように、若い世代の敬老意識を高めるような啓発やインセンティブの導入を考えていかねばならない時期ではないか。

A. 日本の家庭が伝統的に育んできた家族同士の支え合いの精神を持つ家庭を復興することは、すべての人々がいきいき輝く社会につながるものと考えており、行政としてどういったことができるのか総合的に研究・検討していく。



市民まちかど相談所

こんなお悩みございませんか？

・市政に関する要望、相談
・若者、障害者の就労支援
・住宅問題、住まい探し
・子育てや教育のお悩み
・多重債務や金銭、法律トラブル

■ 開催日：毎週(月)～(金)
相談は何時でも結構です。
予約受付は10～17時

■ 場所：千里山行政書士事務所

「市民まちかど相談所」では弁護士、司法書士、行政書士など専門家と連携し、問題解決への助言をさせていただきます。

無料 秘密厳守 予約制

至北千里
交番 ● 千里山駅
書店 ● 郵便局 ● 阪急千里山マーケット

■ お気軽にご予約ください
TEL 06-6385-1230
FAX 06-6385-1239

ホームページは毎週更新しております。
www.kamiyasohei.jp

【自宅】吹田市山田東4-41 5-814号 TEL・FAX：06-6567-8750
【事務所】吹田市泉町1-3-40 市役所3F TEL：06-6337-6928(直通)
E-mail：info@kamiyasohei.jp

【連絡先】吹田市垂水町1-31-22 石川まさる事務所
TEL:06-6337-7701 / FAX:06-6337-7702
mail：ishikawa@wish.ocn.ne.jp

3月議会報告 「新選会議会質問」と「答弁」の概要

市政への要望・不満、行政への質問など、
なんでもお気軽にご相談ください。（連絡先は裏）

Q.&A. 神谷宗幣



私たちが、みなさまの【声】を代弁します。



石川勝

福祉 Q. 生活保護の不正受給のチェックを！



〔神谷 代表質問〕

Q. 生活保護の受給者は、平成19年には110万世帯に達し、来年度の予算では支給総額が二兆円を超えると推計されている。吹田でも十年間で受給者数が1.6倍に増え、約5000人が対象となっており、昨年からの経済の悪化で今後益々受給者が増えていくと考える。本当に生活保護が必要な方に資金が行きわたるように、適正な給付がなされているかのチェックが必要と考える。いかなる対策を取っているのか。

A. 不正受給に対する対応策としては、収入申告の必要性を徹底し、家庭訪問による実地調査、主治医訪問による病状及び稼働能力の確認、年金や手当の受給権確認などを実施しており、特に稼働能力があると判断されながら、求職活動を十分に行わない場合には、文書による指導を行い、厳しく対応している。

教育 Q. 行政サービスでなく、親の意識と生活習慣の改善を。



〔神谷 代表質問〕

Q. 市長の施政方針では学校で朝食提供を始めるとのことだが、子供に朝ご飯を食べさせないということは、明らかに親の教育意識や生活習慣の間われる問題。そうした親の行動を改善させることが、教育や行政の仕事であって、予算を割いてサービスを拡張することは方向性が全く逆。こうした問題に本腰を上げて取り組むつもりなら、課題校にスクールソーシャルワーカーを増員して派遣し、民間の力も活用するなどして、保護者に働きかけ、その生活習慣や子育て方法の改善を促していくことが必要と考える。市長の見解は。

A. 朝食摂取など基本的な生活習慣は、家庭が担う役割と理解しているが、朝ごはんを食べていない子どもたちを中心に提供することによって、食生活の改善や生活リズムの安定・向上に向けた取り組みとして検討している。保護者に対しても、学校における朝ごはんの提供を契機に、規則正しい生活習慣の確立が子どもたちの心身の健やかな成長のために重要であるということを啓発していく。

教育 Q. 大阪府と連携の取れた教育施策の推進を。



〔神谷 代表質問〕

Q. 大阪府が府内の保護者に配布した「保護者・地域とともに」はぐくむ 大阪の子供たちの学力」という冊子はなかなかしっかりしたものである。吹田市としても市報などでこうした冊子の存在を市民にPRし府教委と連携して教育に対する市民意識を高めていくべきではないか。橋下知事も積極的に進めようとしておられる校庭の芝生化や反覆学習の充実、道徳教育などに吹田市はどのように取り組んでいるのか。

A. 冊子については、保護者と学校が、教育課題を共有するために有効活用している。学校の芝生化は今後、府の補助制度について各学校に周知し、関係団体とも協議を行い、芝生化の実施に向けて取組んでいく。反覆学習は、各学校において、独自の教材や府の反覆学習教材等を活用して、基礎学力の定着を図っている。道徳教育は、新年度から、各校の道徳教育推進教師により組織する担当者会を通じて、「道徳の時間」の授業づくりや副読本の活用、研修などについて指導と周知を図り一層の充実を図っていく。

人事 Q. 公正な職員人事を！OBの天下り条例になるのであれば反対。

〔神谷 代表質問〕

Q. 厳しい経済状況の中、市民の方からは「吹田市は職員が多すぎる」という厳しい意見もあり、現在吹田市では財政再建化に向けて職員数の削減に努めているはず。そんな時期に、「一般職の任期付き職員の採用に関する条例」を上程した理由は。また、採用の人事権は誰が持つのか。不透明な人事は職員の士気の低下を招き、市民からの批判を受ける。本条例の該当する職員の採用人事権や採用方法は公にするのか。

A. 本格的な地方分権の時代を迎え、市民と行政の役割分担が変わりつつある中で、本市としても、多様で柔軟な任用形態を活用し、より効果的な公務の運営体制を築くため、新たに制度を導入しようとするもの。特定任期付職員の採用方法は、選考と競争試験、選考方法については、「吹田市職員採用試験実施要項」に基づき、任用される職に必要な職務遂行能力の有無について判定することとしており、また必要に応じて、筆記試験や口述試験などの試験を行うことも想定している。

まちづくり Q. 市民まかせでなく、市長が先頭に立って、市民意識改革を！

〔石川 個人質問〕

Q. 市長は施政方針で「地域社会の再構築」に取り組む事を示した。行政があらゆる制度やシステムなどの改革に取り組んでも、そこに市民意識が伴わなければ地域がバラバラになってしまう。この「地域社会の再構築」という大プロジェクトにおいては市長の強烈なリーダーシップ力が欠かせないと思うが、決意はどうか？

A. 「21世紀に飛躍する吹田」の創造に向け「壮大なビジョン」のもと「確かな改革」に取り組むためには、市民の皆様のご理解ご協力が不可欠だ。今後も、私が先頭に立って「市民参加・参画のまちづくりシステムの構築と市民自治の推進」に精一杯努めていく。

市長見解を問う Q. 適度な競争がなければ、まちは発展しない！

〔石川 個人質問〕

Q. 全国学力テストの結果を公表しないことで市民からの誤解を招いている。現在吹田市では独自に詳細を分析し、その結果を公表すると共に問題点の改善に向けて取り組んでいるものの、マスコミに大きく取り上げられた結果の公表の有無に関しては、依然多くの市民が関心と不満をもっている。今回の議会では21年度においても結果は公表しない旨の市長発言があったが、我が会派では結果を公表する事による弊害は少ないと考えており、公表すべきだ！との見解を示している。今回は、そもそも市長が競争社会をどのように捉えておられるのか、市政全般の観点で問う。

A. 我が国は、国際社会の中で一定の競争を乗り越え、今日の経済大国を築きあげてきたものと考えている。また、地方自治においては、都市間競争が言われており、自己責任、自己決定のもと、それぞれの自治体が都市経営を行い、その成果に対して市民はもとより各方面から厳しい評価をいただく中で、光り輝くまちを築いていくことが求められる時代となっている。

21年度の予算要望と回答(抜粋)

1 性風俗店の出店規制

【要望】性風俗関連店舗を受け入れない方針を条例で明確に示し、担当部を指定するとともに対策費の確保を要望する。
【回答】庁内の関係部局で、緊密な連携のもと横断的な対応を図れるよう組織を立ち上げ、定期的な検討をし、対応策を考えていく。

2 職員研修の充実

【要望】地方分権が進む中、職員の政策立案能力が求められている。また、職員の人間力を向上させることは本市の重要課題である。更なる職員研修の機会とその予算確保を要望する。
【回答】豊かな発想と政策形成力、事業推進力をもった職員育成のため、職員研修の充実を図り、その成果を保持・活用できるよう努める。

3 小中学校へのエアコンの設置

【要望】夏季でも子供達が学校で勉強に集中できるように、エアコンの全教室配置を要望する。
【回答】財政的には大変困難であるが、先進都市の状況を参考とし、関係部局間で協議のうえ、研究していく。

4 保育料の徴収

【要望】年々増える保育料の未納に歯止めをかけ、市民に不公平感を与えないように、徴収に力を入れることを要望する。
【回答】すでに滞納者への督促状の配布などを行っているが、今後は、滞納率の推移や状況を総合的に判断したうえで、各部署間連携による徴収業務の体制整備を行う必要があると考えている。

5 南吹田地域の開発

【要望】南部拠点のまちづくりについては、商業地である江坂との繋がりも考慮し、将来の発展が可能となる計画を立て、地域開発に務めることを要望する。
【回答】提案いただいた構想を尊重し、地域特性を活かした魅力あるまちづくりの実現に向け、今後の方針を示す、南吹田地域のまちづくり基本計画を策定していく。